

(様式9)

公共事業終了箇所評価調査

評価確定日(平成16年11月22日)

Table with project details: 事業コード H16-農-終-11, 区 分 国庫補助・県単独, 事業名 フォレスト・コミュニティ総合整備事業, 部 局 名 農林水産部, 事業種別 補助事業(林道事業), 課室班名 森林整備課 林道班 (tel) 1945, 路線名等 沢内水沢, 担当課長名 佐々木 誠, 箇所名 協和町稲沢, 担当者名 主幹(兼)班長 小滝 光和. Includes a sub-table for 総合計画との関連 with 政策コード, 施策コード, and 目標コード.

1. 事業の概要

Main summary table with 5 columns: 事業期間, 総事業費, 国庫補助率, etc. Includes sections for 事業の立案に至る背景, 事業目的, 事業費内訳 (with cost comparison tables), 事業終了後の問題点, 住民満足度等の状況, 上位計画での位置付け, and 関連プロジェクト等.

前回評価結果等	選定または継続 指摘事項	改善	見直し	保留または中止
	-			
事業効果把握の手法及び効果	指摘事項への対応			
	-			
	指標名	県全体における林内路網密度	データ等の出典	林道事業実績報告
	指標の種類	成果指標 (業績指標)	把握の時期	15年 5月
	指標式	林内道路密度 = 林道延長 ÷ 民有林面積		
目標値 a	7.5 m / ha (平成22年度末)			
実績値 b	5.8 m / ha (平成14年度末)			
達成率 b / a	77%			
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 指標を設定することができなかった理由				
-				
具体的な把握方法と成果(見込まれる効果) データの出典含む				
-				

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	住民満足度の状況 A B C	A B C
	町が行った受益者等と意見交換において、事業実施により集落と森林が近くなり、森林整備のため、山林に入る機会が増えた旨、意見が出されている。	
	事業の効果 A 達成率100%以上 B 達成率80%以上100%未満 C 達成率80%未満	
	当該事業箇所着手から現在まで、利用区域内森林における間伐等整備面積が964 ha(38%)の実績であり、中でもスギ人工林における整備面積は918 ha(67%)におよび、今後も未着手だった森林の整備面積は拡大する。	
効率性	事業の経済性の妥当性 A B C	A B C
	B / Cが国庫補助採択基準(1.5)を上回っており、経済性の妥当性が高い。	
	コスト縮減の状況 A 縮減率20%以上 B 縮減率20%未満 C 縮減なし	
	-	
総合評価	A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い)	
	当初計画に対し経費が増大したものの事業計画にそって着実に施工が進み、森林整備量や地域住民の満足度等から成果が上がっているものと判断でき、妥当性が高い。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

再生産可能な資源である森林の整備推進および生産コスト低減に寄与できる基盤施設として、土工量の縮減や再生材の利用等、コスト縮減に積極的に取り組み、効率的な事業施行に努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。